

安城学園高等学校 同窓会会則

2014.02.18

■第1章 名称及び事務局

- 第1条 本会の名称を安城学園高等学校同窓会と称する。
第2条 本会は、事務局を安城学園高等学校内に置く。

■第2章 目的と事業

- 第3条 本会は、会員相互の連絡と親睦を図るとともに、安城学園高等学校の発展に寄与することを目的とする。
又、安城学園の他の同窓会との交流を行い、親睦を図る。
第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1 会員の互助
2 会員名簿の整理
3 母校が行う事業への協力
4 安城学園の他の同窓会との交流及び親睦
5 その他、本会の目的達成に必要と認められる事業

■第3章 会 員

- 第5条 本会は、次の会員により構成する。
正会員
1 安城学園女子短期大学附属中学校卒業生
2 安城学園女子高等学校卒業生
3 安城学園女子短期大学附属高等学校卒業生
4 安城学園高等学校卒業生
特別会員
教職員及び旧教職員

■第4章 役員幹事の選出方法及び任務

- 第6条 本会に次の役員を置く。
1 顧 問 若干名
2 会 長 1名
3 副 会 長 若干名
4 事務局長 1名(副会長が兼任)
5 幹 事 長 1名
6 書 記 4名
7 会 計 2名
8 監 査 2名
第7条 本会に学外・学内代表幹事を若干名置く。
第8条 本会の役員の選出は、次の方法で選出する。
1 顧問は、安城学園長・同理事長、勿忘草会会長、安城学園高等学校長とする。
2 会長は、役員会の推薦によって選出し、総会の承認を得る。
3 副会長は、2項に同じとする。
4 事務局長は、副会長の中から会長の委嘱によって定める。
5 幹事長は、会長の委嘱によって定める。
6 書記は、5項に同じとする。
7 会計は、5項に同じとする。
8 監査は、5項に同じとする。
9 学外・学内幹事は、5項に同じとする。
10 卒業年次ごとの幹事は、同期会員の互選による。

- 第9条 本会の役員、幹事には次の任務がある。
1 顧問は、本会に助言し諮問に応える。
2 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
3 副会長は、会長を補佐し、会長不在又は事故ある時はその代理をする。
イ すべての会の議事、資料作成 ロ 会の進行
4 幹事長は、幹事会を掌握し、幹事会を統括し、幹事の意向を役員に計る。
5 事務局長は、各会の事務運営を担当、処理する。
イ 通知文作成等 ロ すべての通信事務の指示
6 書記は、本会の運営上の記録、整理、保管をする。
イ 会員名簿の整理、保管、宛名ラベルの印刷
ロ 各会の議事録作成と保管
ハ 会報の発行等
7 会計は、本会の経理事務を処理する。
8 監査は、会計事務の監査に当たる。
9 幹事は、幹事長の指示により幹事会、総会等の会務を分掌する。
但し、学内の幹事は同窓会行事に積極的に協力する。

- 第10条 役員、学外・学内幹事の任期は、3年とする。但し、再選はさまたげない。
任期中に選ばれた場合は、残任期間とする。

■第5章 会 議

- 第11条 本会の会議は総会、役員会、幹事会とする。
1 総会は、年1回を定例とする。議長は、会長とする。
2 役員会は、年2回を定例とする。但し、会長は、必要に応じて開くことができる。
3 幹事会は、年1回を定例とする。但し、幹事長は、必要に応じて開くことができる。

■第6章 会費及び会計

- 第12条 入会金10,000円とし、会費は必要に応じて徴収する。
第13条 会費の徴収は、卒業年次四期の学納金納入時に徴収する。
第14条 本会は、入会金、会費をもって運営する。
第15条 本会の事業、予算、決算は、総会の承認を得なければならない。
第16条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。
第17条 本会の資産は、安城学園高等学校同窓会長名で銀行、信金、郵便局で保管する。

■第7章 通信及び事務

- 第18条 総会は、書面・インターネット・新聞広告等で通知する。
第19条 会員は、住所、氏名等を変更した場合は、本会に通知すること。

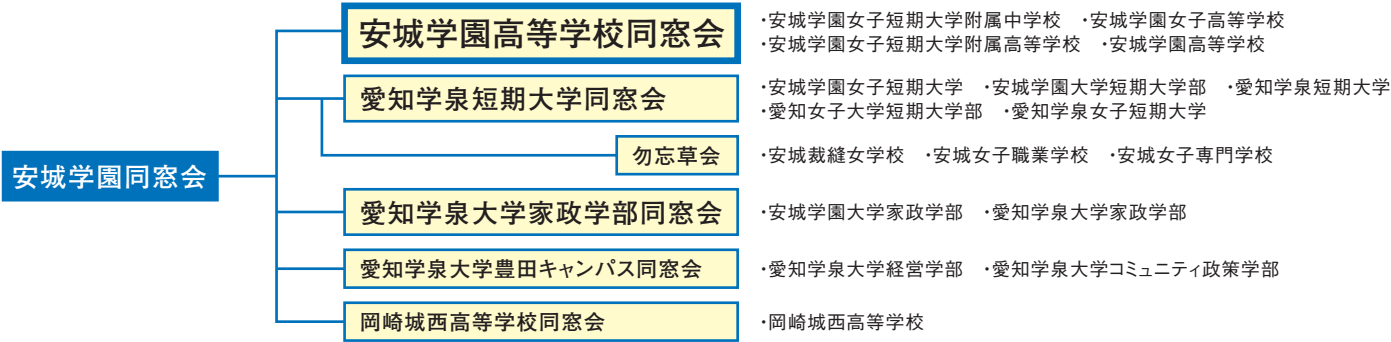
■第8章 支部会について

- 第20条 支部からの要望があれば、地域別の支部会を開催することができる。

■第9章 付 則

- 第21条 本会の慶弔規定は、その都度、役員会で協議する。
第22条 本会則の変更は、総会の議決により行うことができる。
・本会則は、平成16年10月24日より実施する。
・本会則は、平成21年9月26日 一部改正。
(但し、第5章 会費 は平成22年度より改正)
・本会則は、平成22年6月12日 一部改正。

組織図



安城学園高等学校 同窓会会報



新入会員の皆様へ



同窓生という「輪」を結ぼう

安城学園高等学校同窓会 会長 鶴田 紀美子

卒業生の皆様ご卒業おめでとうございます。安城学園高等学校同窓会入会ありがとうございます。創設者寺部だい先生は、「最初の一コマは、未来永劫のあり方とその運命を意味する最も大切な一コマである」と、昭和32年発行された『安城学園45年史』の巻頭言に書かれていますように、卒業は、新たな一歩であり、未来へと繋がる一歩でもあります。

この同窓会は、平成16年3月、安城学園同窓会「勿忘草会J」が解散し、平成16年10月24日高等学校の部が独立、「安城学園高等学校同窓会」として設立されました。昭和24年3月の高校の「勿忘草会」の同窓生は、65名でした。平成27年3月は、約33,000人となります。平成26年6月7日の同窓会総会にて、会設立から10年たったので、今後は、少しでも高

校生との「輪」を求めていけたらと、手始めに「夏の東日本支援セミナー」への応援参加と学園祭での学園のあゆみのパネルによる紹介の手助けなどを実施しました。また、会員皆様の協力により卒業生の皆さんに同窓会会報『おもいでぐさ』7号をお届けできますこと、大変うれしく思います。会報『おもいでぐさ』のタイトル名は、卒業生の皆様も拝読された寺部だい先生の自叙伝の題名から、引き継がせていただいています。会員の皆様、どうぞ今日のこの日の一コマから、同窓生の仲間として輪を結び、母校の応援団としていろいろな行事に参加していきましよう。まずは、平成27年6月6日(土)に開催予定の総会・(還暦・成人式のお祝い会有り)へのご出席をお待ちしています。母校で、培った「真心・努力・奉仕・感謝」の建学の精神を誇りに、自分の目指す夢に向かって力強く生きていかれることを祈念します。



学園祭にて

同窓会の発展を願って



貴同窓会の益々のご発展を！

理事長 寺部 暁

貴同窓会の会員の皆様におかれましては益々ご清栄のことと心よりお喜び申し上げます。

さて、学園では「だれでも無限の可能性を持っている」という創立者の一人寺部だいの信念に基づいてこれまで教育を展開してきました。この信念に基づいてこれまで教育を展開してきたからこそ、学園創立100周年の折に外部の方から「安城学園らしい」というお褒めの御言葉をいただくことができたのです。この「安城学園らしさ」を作ってきた原動力の一つは、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神の実践に精進された卒業生の皆様であります。改めて感謝申し上げます。

ところで、安城学園は創立以来「無限の可能性に挑戦する若者」を育成してきましたが、これからも「無限の可能性に挑戦する若者」を育成していきたいと思っています。

そこで、学園では、「社会は変化する。しかも、変化のスピードが早い」という特色を持った現代社会において、これからも安城学園の卒業生が十二分に活躍できるよう、「知・徳・体・行」という新しい教育モデルを開発して、教育にイノベーションを興すことによりこれからの学園の新しい100年の基礎を作ろうとしています。

最後に、「学校あつての同窓会、同窓会あつての学校」です。そういう意味で、貴同窓会が益々のご発展されることをご祈念申し上げるとともに、一層のご指導・ご鞭撻をお願いいたしましてご挨拶に代えます。



“繋がり”と“絆”

校長 坂田 成夫

同窓会の皆様には、日頃から母校に対して多大なるご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

同窓会の大きな役割は“繋がり”と“絆”です。「絆」という漢字の語源は家畜などの動物をつなぎ止めておく綱(つな)のことをいい、平安中期の辞書「和名抄」にもその意味で使用例が見られるそうです。綱(つな)は人間と家畜(馬、犬、鷹、鷲など)を繋げる役割を担っており、言葉の通じ合わない人間と家畜が綱を通して繋がっていく、日常の生活のなかで離れがたい情愛や断つに忍びない愛情に変わっていったところから絆(きずな)という現在の意味になったといわれます。

同窓生は高校時代をともに過ごした仲間、同じような高校時代を過ごした仲間、そして安城学園の4大精神である「真心・努力・奉仕・感謝」とともに学んだ仲間であります。社会でも同窓生守ったり、守られたり、褒めたり、褒められたり、怒ったり、怒られたり、助け合ったり、助けられたりという関係を大切にして絆(きずな)を強くしていったと願っています。

“繋がり”と“絆”の広がり、優しい社会づくりにとって必須のことです。そうした活動を同窓会に期待します。

第11回 安城学園高等学校同窓会総会を開催しました

日時 平成26年6月7日(土) 午後1時
場所 視聴覚室(西館)

●総会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- 1 開会のことば
- 2 同窓会会長あいさつ
- 3 理事長あいさつ
- 4 校長あいさつ
- 5 議長選出
- 6 議題

～平成25年度事業報告～

- 役員会 (5月・11月・3月)
- 総会案内発送 (4月)
- 幹事会 (6月)
- 第10回 総会..... (6月)
- 25年度 卒業生同窓会入会式 (6月)
- 会報「おいでぐさ」6号発行..... (2月)

1)平成25年度 事業報告

2)平成25年度 会計報告・会計監査報告

3)平成26年度 事業案

4)平成26年度 予算案

5)その他

- 7 お祝いの会(成人・還暦)
- 8 ミニコンサート(合唱部)
- 9 閉会のことば

～平成26年度事業案～

- 役員会 (5月・11月・3月)
- 総会案内発送 (4月)
- 幹事会 (6月)
- 第11回 総会 (6月)
- 東北ボランティア支援 (8月)
- 学園祭パネル展示 (9月)
- 26年度 卒業生同窓会入会式 (2月)
- 会報「おいでぐさ」6号発行 (2月)



▲ミニコンサート(合唱部)



▲寺部理事長



▲坂田校長



▲鶴田会長

同窓会役員

顧問 寺部曉(理事長)、坂田成夫(校長)、
長谷川幸子(勿忘草会長)
会長 鶴田紀美子
副会長 松原美智子、安藤紀美子、
天野真弓、藤井京子
幹事長 浅井恵
書記 榊原ゆり、神谷良美、
岡田叔子、石田桂
会計 渡辺貴美、神谷美鈴、
会計監査 三井妙子、大久保一代

幹事

平成24年度 同窓会幹事
普1組 柳生 真奈美
2組 川澄 葵
3組 石川 祝貴
4組 今宮 志穂
5組 坂本 ユウキ
6組 ラウリアノ ヒデオ
7組 佐藤 ひかり
8組 黒田 真
9組 日下 将聡
10組 池田 一成
11組 北川 拳士朗
12組 足立 英
商1組 杉崎 愛也
2組 飯塚 桃子

平成25年度 同窓会幹事
普1組 鶴田 菜々瀬
2組 山本 真穂
3組 高杉 玲奈
4組 北 遥佳
5組 中村 有希
6組 園田 光司
7組 渡辺 梨華子
8組 杉村 昭輝
9組 濱田 樹
10組 藤原 睦
11組 中西 浩平
商1組 島袋 レヒナ
2組 生駒 乃梨
3組 阿座上 依子

平成26年度 同窓会幹事
普1組 鈴木 結恵
2組 石原 菜絵
3組 苅川 真由
4組 加納 咲里
5組 山下 真依
6組 原田 莉菜
7組 杉浦 和真
8組 竹中 良太
9組 新田 零
10組 山本 輝一
11組 川元 翔平
12組 和田 直也
商1組 岸川 りな
2組 三好 あすか
3組 内藤 宏樹

同窓生という「輪」

東北大人セミナーに参加して 同窓会長 鶴田紀美子

8月17日(日)～20日(水)の4日間、安城まちづくり市民会議の12名の皆様と安城学園の東北大人セミナーに同窓会員として現地の方々の交流と高校生との輪を広げたいとの思いで参加しました。

東日本の4日間は、東北新幹線一の関駅から南三陸一気仙沼一大島大船渡一陸前高田一釜石一山田町一大槌町一盛岡を中心に視察しました。1日目、4日目は往復に使い、2日目は合唱部のおっかけ応援と視察、31:1日は視察と地元の方との交流を主にセミナーが行われました。合唱部は、商店街の広場を主に、ホテルのロビー、仮設住宅、保育園、小学校、老人ホーム等々でコンサートを行っていきました。集客のため商店にチラシを配ったり、お客様に呼びかけたりと懸命に取り組んでいました。東北といえども8月中旬の暑さと頻繁な移動のスケジュールとで大変そうでした。涙を流して聴いている人、笑顔いっぱい拍手の人と出会い、高校生の大きく深い学びの姿に接することができました。大人セミナーの私たちも各場所で語り部の誹話、復興活動に全力を注ぐ人たちとの交流で多くのことに接することができました。震災から3年半も経っているのに復興は、あまり進んでいるようには思えませんでした。それでも、地域の方は今ここに生きていることで、明るく前に進んでみえます。百聞は一見に如かず。とても有意義なセミナーとなりました。



卒業生からのたより

学園での3年間を経て

成瀬 拓郎(平成23年度卒)



私の安城学園での高校生活こそ、同じ頂点を目指し、熱くなれる仲間がいたからこそ、決意を持って挑めた3年間でした。

高校生活の大半を野球部として活動させていただき、数多くの挫折を味わいました。そんな中でも、同じ夢をもち、そばで声をかけてくれる仲間ができたことは、今でも一生の財産となっています。

多くの仲間とともに、個々が本気で己を磨き、肩を組んで逆境に立ち向かう、その気持ちを持てたのも、仲間の存在があったからこそだと思います。大きく成長できる場、それが我が母校、「安城学園」だと思っています。

卒業4年目に入る今、毎日を自分の小さなゴールの積み重ねとし、これからも自分の道を駆け抜けていきたいと思っています。

やり抜く力

星野 訓代(昭和60年度卒)



安城学園での3年間は、自分を大きく変えてくれた貴重な3年間でした。

私は、ハンドボール部に所属し一つの目標に向かって朝から夕方遅くまで練習の毎日でした。挫けそうになったり、諦めかけたりすることもありましたが、先生、チームメイトに支えられ最後まで“やり抜く”事が出来ました。

今、その時の経験が大きく活かされ仕事に励んでいます。「一つの事を諦めずにやり抜く事」は容易ではありませんが、ゆっくりでもいいのでやり出した事を放り出さずやり抜いて欲しいです。

そして、いつも支えてくれた先生、チームメイトに感謝しています。皆さんも頑張ってください。

編集後記

理事長様、校長先生を始め関係各位の御力添えを賜り、安城学園高等学校同窓会会報7号の発行ができますこと心より感謝申し上げます。

8月には、東日本災害地に同窓会会長も同席され、生徒のボランティア活動の姿を目の当たりにした報告もありました。今後も安城学園高等学校の生徒並びに諸先生方と、同窓会・各年度の幹事の皆様を中心に連携を基に、充実・発展に向かって努力していきたいと思っております。ご協力よろしくお願い致します。

※会員の皆様の住所変更がありましたら、安城学園同窓会事務局までご連絡ください。

平成27年度

同窓会総会案内

平成27年6月6日(土)
13:00～14:00 安城学園高校 視聴覚室

多数のご参加をお待ちしています。